



吉野辰海
YOSHINO Tatumi

SCREW- 飛べ!
2001-2002年
F.R.P. その他
270x390x180cm
東邦画廊
photo: 佐藤英

Art Program Ome 2009

アートプログラム青梅は2003年の開催時より美術館や画廊とは異った、アーティスト主導による、少し“ゆるく”てオルタナティブな、街中に開かれた美術展のあり方を模索してきました。それは、普通の街と人の生活にもっと文化芸術を！というこのプログラムの、静かな挑戦でもあります。

7年目を迎えた今年、新たに青梅市立美術館が実行委員会に加わり、次のステージを迎えます。

2009年は「空間の身振り」をテーマに世代を横断する12名のアーティストが参加し、また恒例の武蔵野美術大学、多摩美術大学、明星大学、東京造形大学の学生47名による4大学学生展プログラムを青梅市街に展開、シンポジウム、ワークショップ他、関連事業を開催します。

都内でありながら、すぐ向こうは豊かな山並みの、東京を感じさせない風景の中に旧街道の気配を残す青梅市街。秋の美術の遠足に、ぜひお越しください。



牛島達治
USHIJIMA Tatsuji

土の為の生産プラント
2009(1997)年
鉄、モーター等機械要素、制御システム、黒土、種子
400x900x1000cm
(土のテーブルxφ3m)
「水と土の芸術祭2009」
新潟市全域/豊栄米蔵跡・汎用動力研究所

ワークショップ 作家コメント
工作機能を持った自走車両にて青梅の各所をめぐり、出会う人とともに何かをつくる。(map②)



山口啓介
YAMAGUCHI Keisuke

アナマリー
新潟絵地図
/niigata map(部分)
2009年
アクリル、ガッシュ、色鉛筆、紙、線、アクリル板、アクリルケース
813x1000cm
「水と土の芸術祭2009」
新潟市全域/新津美術館
photo: 中村尚

ワークショップ 作家コメント
地図を描いた絵と、それをコピーして変形させ、クラゲのように空間に浮遊させる。(map③)

Art Program Ome 2009 7th

「空間の身振り」展

4大学学生展プログラム
「PREMIUM OME」

インフォメーション

MO ギャラリー
学生展ガイドツアー 集合場所
約90分間、展示会場を出品学生代表がご案内
●11月15日(日)13:00~
●11月21日(土)13:00~

吉川英治記念館方面
「吉野(玉堂美術館)」
行きバス停
※「柚木」下車

①水上嘉久
01...ギャラリー伸通りエレジー
02...スミレ写真館
03...奥多摩写真館
04...渡辺画廊跡

青梅市立美術館
②牛島達治
③山口啓介
④尾長良範
⑫重政啓治

吉川英治記念館
⑥作間敏宏

青梅市立美術館
Tel 0429-24-1195
< JR 青梅駅から徒歩8分 / 観望館から徒歩16分 >

吉川英治記念館
Tel 0428-76-1575
< JR 二俣尾駅から徒歩15分 >

青梅市立美術館
Tel 0429-24-1195
< JR 青梅駅から徒歩8分 / 観望館から徒歩16分 >



Art Program Ome 2009

4大学学生展プログラム 「PREMIUM OME」

多摩美術大学
ta01. 立 井原宏路……………駐車場ブロック左側
ta02. 立 上原えり……………伊藤さん宅裏
ta03. 立 江頭誠……………宗徳寺墓地の上
ta04. 立 緒方佳太……………勝沼三丁目児童遊園内
ta05. 立 越智彩……………住吉神社ふもと右側小上がり
ta06. 立 菅野良太……………西分神社の林
ta07. 立 鏗沼絵里子……………山崎鍛冶屋の玄関先
ta08. 立 小林絵理紗……………山崎さん宅脇の通路
ta09. 立 寺田衣里……………勝沼三丁目児童遊園内
ta10. 立 戸塚くるみ……………山利分店の軒下
ta11. イ 原田史子……………岡野運輸駐車場

武蔵野美術大学
mu01. 立 大石麻央……………勝沼公会堂
mu02. 平 大町未花……………西分町一丁目山車庫側面
mu03. 平 加藤哲郎……………青梅信用金庫、建物外の壁
mu04. 平 黒山昌平……………乗願寺石垣

mu05. イ かめいさおり……………乗願寺敷地内勝沼神社脇の林
mu06. 平 久保俊太郎……………中樹屋菓子屋
mu07. 立 佐藤怜……………古井戸
mu08. 立 佐藤玲子……………都立青梅総合高校の講堂脇
mu09. 立 外川麻未……………勝沼交差点付近の空き地
mu10. 立 永井慧彩……………勝沼公会堂
mu11. 立 原田賢幸……………久保ラジオ商会
mu12. 立 宮本智之……………空き地
mu13. 立 八木貴史……………西分町三丁目消防団跡
mu14. イ 八木美由紀……………マルファジ青梅店
mu15. 平 山田英和……………西分神社
mu16. 平 良知生朗……………ヘアーサロンおしぎりの駐車場
mu17. 平 渡邊逸世……………西分町一丁目山車庫正面

東京造形大学
zo01. 平 磯邊寛子……………永山公園周辺の木々
zo02. イ 佐藤慎吾・半田貴功…カフェ yard (共同制作)
zo03. 平 藤崎美和……………勝沼公会堂

zo04. イ 村上真之介……………都立青梅総合高校の講堂脇階段
zo05. 平 山根一晃……………並木さん宅の倉庫

明星大学
me01. 立 秋葉拓人……………河辺さん宅の裏庭
me02. 平 売賀創……………猫かいくり公園
me03. 平 上岡祥恵……………協和印刷側面
me04. 立 菊池徹也……………米屋店舗裏の蔵二階
me05. 立 北川由花……………勝沼公会堂
me06. 立 久保佑太……………米屋店舗裏の蔵一階
me07. 立 後藤友里……………乗願寺墓地頂上の林
me08. 立 酒井厚志……………昭和レトロ博物館脇の通路
me09. 立 下田あゆみ……………東青梅センタービル二階
me10. 立 関根綾香……………住吉神社裏の林
me11. 立 降矢友美……………のぎき硝子店脇の通路
me12. 立 村山菜々子……………広瀬さん宅脇の通路
me13. 立 吉原達彦……………乗願寺境内

立 = 立体作品
イ = インスタレーション
平 = 平面作品



尾長良範
ONAGA Yoshinori

zone
2007年
227.3x90cm
photo:artist

ワークショップ 作家コメント
180x90cmの和紙を用い墨で描いた
絵画、約10点の展示予定。支持体と
して紙と墨という素材を制限したなか
で絵画の可能性を探る。(map④)

「空間の身振り」

大橋紀生

絵画を前にして空間といえは、ものが描かれていない余白か、遠近法によって表現された奥行きを指す。また立体作品の場合は、彫り込まれたり構成されたりした透き間を言う。そして、ひろく生活の場においては、物が充溢していない所をそう呼んでいる。

作者が提示する作品は、未完の作品を前にして周囲を頻繁に動き回り、熟考しつつ手足を動かした結果であり、作者の経験と思想の形象化であろう。そこには作者の全身的な身振りが潜在している。私たちが作品を鑑賞することは、能筆の書を見るとき必ずとその筆跡をなぞってしまいうように、作者の創造の過程を追体験すると同時に、その身振りを体感することでもある。言ってみれば、空間にこそ、自由な想像と行動が許されているのである。

今回、場所を選んで展示された作品から、十人十色の「空間の身振り」を感じ取り、楽しんでいただければ幸いです。

(おおはしりのりおエディター)

Art Program Ome 2009 7th

文化庁「文化芸術による創造のまち」支援事業



空間の身振り

2009年11月7日[土]→11月23日[月] (青梅市立美術館のみ11月29日(日)まで開催)
 10:00-17:00 会期中無休
 ただし、青梅市立美術館 09:00-17:00(入館16:30) 休=11月9日(月)、16日(月)、17日(火)、18日(水)、24日(火)
 吉川英治記念館 10:00-16:30(入館16:00) 休=月曜日

同時開催 Art Program Ome 2009-4 大学学生展プログラム「PREMIUM OME」

入場無料 ただし、吉川英治記念館は有料 大人500円・中高大学生400円・小学生300円。チラシ持参の方は100円引き
 ■会場 青梅織物工業協同組合施設 (BOX KI-O-KU=旧都立繊維試験場・SAKURA FACTORY=旧青梅織物工業協同組合織物加工工場)
 東京都立青梅総合高等学校・講堂 青梅市立美術館 吉川英治記念館 青梅市街(西分町・勝沼・本町・住江町)

Art Program Ome 2009 7th

「空間の身振り」展 — 文化庁「文化芸術による創造のまち」支援事業

2009年11月7日[土]→11月23日[月]
 (青梅市立美術館のみ11月29日(日)まで開催)
 10:00-17:00 会期中無休 (ただし、以下を除く)
 青梅市立美術館 09:00-17:00(入館16:30) 休=9日(月)、16日(月)、17日(火)、18日(水)、24日(火)
 吉川英治記念館 10:00-16:30(入館16:00) 休=月曜日

参加作家 —— 牛島達治・大竹敦人・尾長良範・斎藤美奈子・作間敏宏・重政啓治・戸谷成雄・平田星司・水上嘉久・母袋俊也・山口啓介・吉野辰海

入場無料 — ただし、吉川英治記念館は有料。大人500円・中高大学生400円・小学生300円。チラシ持参の方は100円引き。

会場：青梅織物工業協同組合施設
 BOX KI-O-KU=旧都立繊維試験場
 SAKURA FACTORY=旧青梅織物工業協同組合織物加工工場
 東京都立青梅総合高等学校・講堂
 青梅市立美術館
 吉川英治記念館
 青梅市街(西分町・本町)

■出品作家によるギャラリートーク/タイムテーブル
 11月7日(土) 吉川英治記念館 11:20-11:40
 ギャラリー仲通りエレジー 12:00-12:20
 青梅市立美術館 12:40-13:20
 都立青梅総合高校・講堂 13:40-14:00
 青梅織物工業協同組合施設 14:10-14:50

■シンポジウム「地場が動く」
 11月7日(土) 15:00-17:00
 会場：青梅織物工業協同組合事務所2F
 出演者：池田修 (BankART1929代表・PHスタジオ代表)
 長田謙一 (首都大学東京教授)
 水上嘉久 (彫刻家・多摩美術大学教授)
 原田丕 (画家・アートプログラム青梅代表)
 司会：大橋紀生 (エディター)

■オープニングレセプション
 11月7日(土) 17:30～
 会場：青梅織物工業協同組合事務所2F

■牛島達治によるワークショップ〈会期中不定期に開催〉
 屋台のような移動式作品によって、街中でゲリラ的に出会った人とワークショップを計画しています！(お問い合わせ：青梅市立美術館)

■斎藤美奈子・重政啓治によるアーティスト交流授業
 小学校との交流事業によって制作された作品が展示されます。
 ・斎藤美奈子 / 青梅市立第一小学校にて小学生が撮影した写真をもとにした映像作品。展示場所=青梅織物工業協同組合施設
 ・重政啓治 / 青梅市立吹上小学校にて吹上地域にある土を使った絵画。展示場所=青梅市立美術館

同時開催
Art Program Ome 2009
4大学学生展プログラム
「PREMIUM OME」
 展示エリア: 青梅市街(西分町・勝沼・本町・住江町)
 参加大学: 多摩美術大学、武蔵野美術大学、東京造形大学、明星大学

■学生展ガイドツアー
 出品学生代表が、約90分間で展示場所をご案内します。
 日 程：●11月15日(日) 13:00～
 ●11月21日(土) 13:00～
 集合場所：青梅駅前・MO ギャラリー

■トークセッション「環境と表現することの対話について」
 日 程：11月21日(土) 16:00-17:30
 会 場：青梅織物工業協同組合事務所2F
 出演者：鷹見明彦 (美術評論家) × 武居利史 (府中市美術館学芸員)
 司 会：学生代表3名による



交通 会場へはJR青梅線・青梅駅が便利です。
A 青梅織物工業協同組合施設 (青梅市西分町3丁目123)
 JR青梅駅より徒歩10分。
 織協施設より東京都立青梅総合高等学校へ徒歩5分。
 (総合高校は東青梅駅南口下車徒歩5分)
 車→青梅街道より電波塔をめざし市街へ入る。※専用P無し
A 青梅市立美術館 (東京都青梅市滝ノ上町1346-1)
 JR青梅駅より徒歩6分 (織協施設より徒歩16分)
 車→青梅街道沿い、青梅市民会館南交差点手前 (信号東)。
 ※第一、第二駐車場有り
B 吉川英治記念館 (青梅市榎木町1丁目101-1)
 JR青梅駅より都バス「吉野(玉堂美術館)」行き約20分で「榎木」下車。あるいは、JR二俣尾駅より徒歩15分
 車→吉野街道沿い。※駐車場有り

車の場合
 エリアAまで
 ■圏央道青梅ICより約20分。
 ■中央道八王子第二ICより約40分。
 ※青梅織物工業協同組合施設には駐車場はございません。施設の道路の斜め向いの有料「24時間貸駐車場」をご利用ください。

主催：アートプログラム青梅実行委員会 www.art-program-ome.com
 共催：文化庁、青梅市
 助成：青梅市まるごとアート支援事業
 協賛：明星大学、多摩美術大学、武蔵野美術大学、東京造形大学、青梅織物工業協同組合
 協力：青梅市立美術館、東京都立青梅総合高等学校、吉川英治記念館、青梅佐藤財団、NPO法人「青梅の青少年を育てる会」
 西分町、勝沼、本町、住江町、青梅宿アートフェスティバル実行委員会、Dining Gallery 備蔵、久保電気
 後援：青梅商工会議所、西多摩新聞社、アサヒタウンズ、多摩ケーブルネットワーク(株)、西の風新聞社

お問い合わせ「アートプログラム青梅」実行委員会 代表/原田丕 TEL&FAX 042-554-4963
 事務局/村井旬 info@muraijun.com

アートボランティア募集中！ お問い合わせ：青梅市立美術館 TEL 0428-24-1195

大竹敦人
 OTAKE Atsuhito
 光闇の器 / 滴
 2009年
 カメラ・オスクーラによるインスタレーション「あざみ野写真EXPO 視覚の冒険」横浜市民ギャラリーあざみ野
 photo:加藤健

■展覧プラン 作家コメント
 針穴で風景や水景が織りなす光の反射を球体幕に集束させ、暗闇の中に光そのものを導く。(map ⑤)

作間敏宏
 SAKUMA Toshihiro
 接着 / 交換
 2007年
 デジタルプリント、ガゼ、電球、消毒液によるインスタレーション
 270x550x600cm

■展覧プラン 作家コメント
 “この場”に溢れる「文字の力=書物の力」につなげてそれを異化する仕事をしたいと考えず。(map ⑥)

斎藤美奈子
 SAITOH Minako
 memory-
 いなぎプロジェクト
 2009年
 DVD 3点組
 photo:artist

■展覧プラン 作家コメント
 幼少期を過ごした青梅の街。母校の小学生が撮った写真を軸に構成する映像作品。(map ⑦)

母袋俊也
 MOTAI Toshiya
 M 332 TA・SHOH (掌)
 2003年
 アクリル、油彩、綿布
 220x1757cm (14枚組)
 ギャラリーなつか
 photo:末正真礼生

■展覧プラン 作家コメント
 幅17mの長大なTA系絵画と正方形Qf系絵画を対峙的に展示、窓を利用、双方のモチーフである《掌》を探る装置を試みる。(map ⑧)

戸谷成雄
 TOYA Shigeo
 ミニマルパロクII
 2007年
 木、灰、アクリル (ミニマルパロク) より
 Art Program Ome 2007「出会いのよろし」
 青梅織物工業協同組合施設
 photo:柳場大

■展覧プラン 作家コメント
 朽ち果てそうな1本の木が生命樹の影のよりに倒れている。この影を立ちあがらせること。(map ⑨)

平田星司
 HIRATA Seiji
 海のプロセス
 2000年
 海辺で拾ったガラス片、海砂、木片、エポキシ樹脂
 59x160cm
 「海のプロセスとホームセンター」鶴岡区立美術館区民ギャラリー
 photo:artist

■展覧プラン 作家コメント
 窓からの光と風景に呼吸するように海辺のガラス片と砂からなるオブジェが直立する。(map ⑩)

水上嘉久
 MIZUKAMI Yoshihisa
 水仙
 2009年
 大理石
 20x110x20cm

■展覧プラン 作家コメント
 市内4ヶ所の店舗やギャラリーのショーウィンドウ内に小彫刻を展示。(map ⑪)

重政啓治
 SHIGEMASA Keiji
 時計台
 1994年
 岩絵具、漆、墨、和紙、洋紙、板、布などのコラージュ
 227.3x181.8cm

■展覧プラン 作家コメント
 作家の作品とワークショップで行った子供たちの共同制作作品のコラージュ展示の予定。(map ⑫)

空間の身振り

※展覧プラン 作家コメント = 作者による「空間の身振り」展のための展示プラン ※図版は全て参考作品です。